

2013 SYLLABUS

科 目 名	対象学年・学科	開講時期	単位	担 当 教 員
ユニバーサルデザイン演習	3 年 全学科	通 年	4	小林 敬一郎

■到達目標■

障がいのある人もない人も等しく利用出来る製品や環境デザインを、スケッチブックを使用して表現する手法を学ぶ、色鉛筆等で着彩を施しデザイン（ドローイング）を演習することから、(U.D) を身近なものとして考え街の色、公共福祉施設住まいづくりに役立てる。

■授業概要■

日本がユニバーサルデザイン (U.D) という言葉を意識し、社会における位置を理解する時期となったのは、国際的にスタートラインに立ったのが、超高齢社会のアメリカからの到来の 1990 年代後半からでした。自然災害、人工災害からも様々な分野において (U.D) の重要性を、演習を通して福祉デザインを学ぶ。

■授業計画■

第 1 回	表現道具の説明及び演習ガイダンス	第 16 回	姫路駅及び周辺の U.D	課題 1	ベンチ
第 2 回	図学・凡例 表現説明	第 17 回	姫路駅及び周辺の U.D	課題 2	ベンチ
第 3 回	線 文字 (ピクトグラム) のもつ意味	第 18 回	姫路駅及び周辺の U.D	課題 3	待合椅子
第 4 回	デッサン、ラフスケッチ手法	第 19 回	姫路駅及び周辺の U.D	課題 4	待合椅子
第 5 回	パースペクティブ、表現説明	第 20 回	姫路駅及び周辺の U.D	課題 5	待合椅子
第 6 回	パースペクティブ (色鉛筆持参)	第 21 回	障がい者の為の家具製作	段ボール製作 1	
第 7 回	プロダクトデザイン (生活用具)	第 22 回	障がい者の為の家具製作	段ボール製作 2	
第 8 回	プロダクトデザイン (スケッチ、演習)	第 23 回	障がい者の為の家具製作	段ボール製作 3	
第 9 回	プロダクトデザイン (着彩色鉛筆) 講評	第 24 回	障がい者の為の家具製作	段ボール製作 4	
第 10 回	プロダクトデザイン (水まわり製品)	第 25 回	障がい者の為の家具製作	段ボール製作 5	
第 11 回	プロダクトデザイン (水まわり)	第 26 回	福祉用具デザイン	課題 1	ピクトグラム
第 12 回	プロダクトデザイン (浴室) (着彩色鉛筆)	第 27 回	福祉用具デザイン	課題 2	ピクトグラム
第 13 回	暮らしの U.D (サイン計画)	第 28 回	福祉用具デザイン	課題 3	ロゴマーク
第 14 回	暮らしの U.D (U.D 文字)	第 29 回	講評会とコンセプト発表	(学生)	
第 15 回	暮らしの U.D 講評、総評	第 30 回	展示会、講評会・コンセプト発表		

■授業の方法・メッセージ■

演習プレゼン指導、学生作品発表を通じて、暮らしのデザインを考察する。人と物の関係に対し、創る意味性を学生の皆さんと一緒に考えましょう。

注) ユニバーサルデザインコーディネーター3 級取得可能 (授業単位合格者)

■評価の方法■

演習課題製作、提出評価 85%、授業への参加意欲及び、授業姿勢 15% との総合評価

■テキスト■

随時、演習資料配布